

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和5年2月24日

事業所名: 児童発達支援センター歩路

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・人数が多い場合はクラスを分け、環境調整を行っています。	・利用定員数に対して、十分なスペースを確保しています。引き続き、実態や活動内容に応じた活動スペースの確保を行います。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・今後もお子さまの実態や状況に応じ、療育室を仕切ったり、視覚支援を取り入れたりしながら丁寧な支援に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・カーテン式のパーテーションで区切られているため、パーテーションの隙間に入ったり、隣のクラスの様子が気になり覗き込みに行ったりする子ども達がいるため、安全面に配慮しながら活動をしています。	・引き続き、安全に過ごせるよう環境作りに努めます。また、行事等ではパーテーションを開け、広々とした環境で誕生会や季節の行事等を行います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・日々の昼礼やチーム会議にて、より良い療育を提供できるよう目標設定や振り返りを行います。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・本アンケートを通して把握した内容については、事業所内でも情報共有します。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・本アンケートを通して把握した内容については、事業所内でも情報共有します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・新型コロナウイルスの流行に伴い、インターネットを活用した会議や研修も多く開催されており、積極的に参加し、学びの機会へと繋げています。また、法人内でも新任向け職員研修、中堅向け職員研修、自主研修等を実施し、資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・新版K式発達検査2020や絵画語彙検査等のアセスメントツールを活用し、個別支援計画作成にも反映しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・個別支援計画作成時にはガイドラインの内容についても確認しながら作成しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・毎月モニタリングをしているため、支援内容を確認する機会が多いです。	・毎月モニタリングを実施し、日々の支援の振り返りを行い、支援時の様子を記録に残しています。また、個別支援計画に沿った支援が行われているか確認する機会を設けています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・積極的に専門職の意見を活動に反映させている。 ・毎月1回、活動案の打ち合わせを行い、子ども達の発達段階に応じた、活動内容を検討しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・手作り教材等の工夫を常に心がけています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
ハ	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜 組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行 われる支援の内容や役割分担について確認している か	○			・引き続き、十分な引き継ぎや確認 が行える時間の確保に努めます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日 行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共 有しているか	○		・毎日ではありませんが、気になる点 はクラス職員と振り返りをするように しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の 検証・改善につなげているか	○			・引き続き、日々の様子や支援の経 過について、記録を行います。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の 見直しの必要性を判断しているか	○		・6ヶ月に1回のモニタリングに加え、 定期的に個別支援計画の内容に応 じて、支援できているかのような変 化があったか確認し記録に残してい ます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・現在、対象となるお子さんはいませんが必要に応じて対応致します。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・公開療育等で他事業所の様子を見学し、学んでいます。 ・今年は年2回、他事業所や幼稚園、保育所等へ案内を出し、関係機関研修会を開催し、職員の交流や学びの場を提供しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・全くない訳ではないですが、多くはないと思います。	・可能な限り、地域の幼稚園、保育園への就園を検討し、地域の方との交流を大切にしています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・些細なことでも保護者に報告し、相談にも誠実な対応を心がけている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・研修を受けたので、意識しています。 ・法人として、保護者向けのペアレント・プログラムを実施しています。また、職員向けのペアレント・プログラム研修を行い、学びの場へと繋げています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個別支援計画書に、ガイドラインに基づく項目を記載しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・年長児対象の就学前個別相談や年中児以下対象の個別相談を実施しています。また、ご要望や必要に応じて、随時対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・引き続き、個人情報の取り扱いには、十分留意し対応します。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・視覚支援の積極的活用や環境設定の工夫を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・法人が秋まつりを主催し、みかん狩りや乗馬体験を通して、地域の方もご利用いただける場の提供を行います。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・子どもの理解力に応じた工夫を試行錯誤している。	・今後も継続して、さまざまな場面を想定した避難訓練を実施します。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・毎年、全職員を対象に人権侵害防止に関する書類への署名等、虐待に向けた意識向上の為の取り組みを行っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)